

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3213741号
(U3213741)

(45) 発行日 平成29年11月30日 (2017.11.30)

(24) 登録日 平成29年11月8日 (2017.11.8)

(51) Int.Cl. F 1
A 2 3 L 7/113 (2016.01)
A 2 3 L 7/10 (2016.01)
 A 2 3 L 7/113
 A 2 3 L 7/10 E

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2017-4409 (U2017-4409)
 (22) 出願日 平成29年9月7日 (2017.9.7)

(73) 実用新案権者 517286803
 新垣 智恵子
 東京都板橋区前野町 1-4-1 Uハイム 2
 02号
 (73) 実用新案権者 517338674
 新垣 貞幸
 東京都板橋区前野町 1-4-1 Uハイム
 202号
 (72) 考案者 新垣 貞幸
 東京都板橋区前野町 1-4-1 Uハイム
 202号

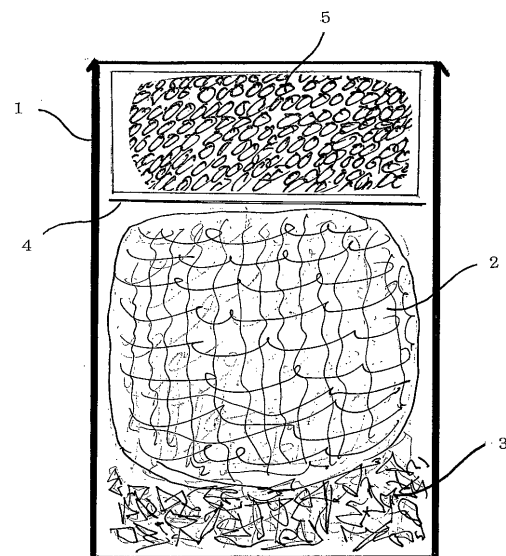
(54) 【考案の名称】 ライスメン

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 カップメンのスープを生かしつつ、麺もご飯も本来の味わいを保った形でおいしくいただくことが出来る、ご飯付カップメン (ライスメン) を提供する。

【解決手段】 電子レンジ対応のカップメン容器に封入される食品材において、味付き乾燥麺 2 や乾燥諸具材 3 の上に乗せてオブラートシート 4 を敷き置き、オブラートシートの上に真空パックご飯 5 を乗せ置いてあることを特徴とする。食べる際は、真空パックご飯だけを外に取出し、オブラートシートの上から熱湯を注ぎ入れ、普通のカップメンとして麺を食し、麺を食べ終わった後に残ったスープを生かして、その中に真空パックから取り出したご飯を入れて、カップメンスープ味のお茶付けの様にご飯をいただく。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

電子レンジ対応のカップメン容器において、
味付乾麺や乾燥具材の上にオブラートシートを敷き置き、その上に真空パックご飯を入れ置くことを特徴とするライスメン。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、カップメンだけでは腹持ちがよくないと感じる様な人の為に、同じ容器内に
ご飯も封入してある、謂わばご飯付きカップメンに関するものである。

10

【背景技術】

【0002】

従来、カップメンを食べ終わっても、スープだけは残って、そのまま捨てるが多か
った。又、スープまで飲み干しても、それだけではお腹が不満足に感じ、別におにぎり等
を追加的に買い足して食べる人が多かった。

カップメンの中に、謂わば具材の一つとして、乾燥ごはんを入れてあるライス入りカッ
プ容器型即席ラーメンも知られている（特許文献 1 参照）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

20

【特許文献 1】特開平 10-295301 号公報

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0004】

食べ終わって、残ったスープをそのまま捨てるのは、いかにももったいなかった。特許
文献 1 に示される先行技術は、熱湯を入れると乾燥ごはんが水分を吸収して雑炊状になっ
てしまい、スープあつての麺のはずの舌触りも、ご飯本来の風味・味わいも台無しであっ
た。

本考案は、以上の様な問題点を解決し、残りスープを生かしつつ、麺もご飯も本来の味
わいを保った形でおいしくいただくことが出来る、謂わば単なる「ご飯入り」でなく「ご
飯付」のカップメンを提供する。

30

【課題を解決するための手段】

【0005】

電子レンジ対応のカップメン容器に封入される食品材において、味付き乾燥麺や乾燥諸
具材の上に乘せてオブラートシートを敷き置き、そのオブラートシートの上に真空パック
ご飯を乗せ置いてある。

食べる際は、まず真空パックご飯だけを外に取出した上で、オブラートシートの上から
熱湯を注ぎ入れ、普通のカップメンとして、ご飯に邪魔されずに本来の味わいそのまま
麺を食し、麺を食べ終わった後に残ったスープを生かして、その中に真空パックから取り
出したご飯を入れて、カップメンスープ味のお茶付けの様に美味しくご飯をいただく。

40

以上を特徴とするライスメンである。

【考案の効果】

【0006】

(イ) カップメンだけでは物足りないお腹も満足でき、おにぎり等を買ひ足す必要も
なく、麺だけの腹持ち悪さもおいしいご飯がプラスされて腹持ち満足に代わる。

(ロ) 麺を食べ終わった後、もったいないと思いつつも捨てるだけだった残りスープ
を二度生かすことが出来る。

(ハ) 乾燥ライス入りカップメンとは大違いに、麺もご飯もそれ本来の味わい・舌触
りを壊すことなくおいしくいただくことができる。

(ニ) カップメン容器に封入された状態においても、オブラートシートによってカッ

50

プメン具材と真空パックご飯との間が仕切られているので、カップメンを食べるために、ご飯は一旦外に取り出す時も、パックには乾燥めんの粉や具材一つくっ付いたりせず、終始きれいな状態で気持ちが良い。且つ、オブラートシート自体はそこにあるがままの状態でその上から熱湯を注いで一緒に食べられるので、「仕切り」を取り除くという様な面倒さも全くない。

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】 本考案において容器を封入された状態で中を示した断面図

【考案を実施するための形態】

【0008】

10

以下、本考案の実施の形態を説明する。

電子レンジ対応のカップメン容器（1）に封入される食品材において、味付き乾燥麺（2）や乾燥具材（3）の上に乗せてオブラートシート（4）を敷き置き、そのオブラートシート（4）の上に真空パックご飯（5）を乗せ置いてある。

本考案は、以上の様な構成であり、以下その具体的な使用法を説明する。

食べる際は、まず真空パックご飯（5）だけを外に取出した上で、オブラートシート（4）の上から熱湯を注ぎ入れ、普通のカップメンとして、ご飯に邪魔されずに本来の味わいそのまま麺を食し、麺を食べ終わった後に残ったスープを生かして、その中に真空パックから取り出したご飯を入れて、カップメンスープ味のお茶付けの様に美味しくご飯をいただく。

20

カップメンだけでは物足りないお腹も満足でき、おにぎり等を買わず必要もなく、麺だけの腹持ち悪さもおいしいご飯がプラスされて腹持ち満足に代わる。

麺を食べ終わった後、もったいないと思いつつも捨てるだけだった残りスープを二度生かすことが出来る。

乾燥ライス入りカップメンとは大違いに、麺もご飯もそれ本来の味わい・舌触りを壊すことなくおいしくいただくことができる。

カップメン容器に封入された状態においても、オブラートシート（4）によって乾燥具材（3）と真空パックご飯（5）との間が仕切られているので、カップメンを食べるために、ご飯は一旦外に取り出す時も、パックには味付乾燥麺（2）の粉や具材一つくっ付いたりせず、終始きれいな状態で気持ちが良い。且つ、オブラートシート（4）自体はそこにあるがままの状態でその上から熱湯を注いで一緒に食べられるので、「仕切り」を取り除くという様な面倒さも全くない。

30

【符号の説明】

【0009】

- 1 容器
- 2 味付乾燥麺
- 3 乾燥具材
- 4 オブラートシート
- 5 真空パックご飯

【図 1】

